

國勢調査の準備と 人口の不自然的移動防止

〔縣より通牒を發す〕

國勢調査の準備と、調査に際して人口分布の常態を保たしむる爲、縣に於ては關係の向へ左の如き通牒を發して注意を促した。

昭和十年度國勢調査 施行ニ關スル件

昭和十年十月一日ヲ期シテ施行セラルベキ簡易ナル國勢調査ニ付テハ豫テ政府ニ於ケテ實施準備中ノ處過般ノ豫算閣議ニ於テ明年度以降ノ實施費豫算左記ニ依リ承認セララル運ト相成候趣ヲ以テ内閣書記官長ヨリ通牒ノ次第モ有之候條貴職ニ於テモ右御了知ノ上ハ當該豫算其他ニツキ可然御手配相煩度爲念及通牒候也

一、調査項目ハ大正十四年ノ四項目「氏

名」「男女ノ別」「出生ノ年月日」「配偶ノ關係」ノ外新規ニ「常住地」ヲ追加ス

二、調査結果ノ整理ハ大正十四年ノ如ク地方分査ニ依ラズ凡テ中央集査ニ依ル

三、地方交付金ハ大正十四年ニハ之無カリシモ今回ハ拾五萬圓ヲ豫算ニ計上ス追テ調査法令ハ明 度豫算ノ公布後成ルベク速ニ之ヲ公布スル見込

國勢調査ニ際シ人口分布ノ 常態激變防止ニ關スル件

今秋十月一日ヲ期シテ行ハルベキ國勢調査ニ於テハ從前ノ調査ト同様現在人口ヲ調査スルノ關係上調査ノ時期ニ人口分布ノ常態ヲ保タシムルヲ可トスルノミナラズ調査ノ時期ニ地方ニ人口ノ蝟集スルコトアラバ延テ調査ヲ阻害スルノ虞モ

生ズベク殊ニ世運ノ進歩ニ伴ヒ調査每ニ複雑化シツ、アル社會事情ニ鑑ミルトキハ調査期日ノ前後ニ於テ博覽會、共進會展覽會各種ノ大會總會ノ開催、團體旅行其ノ他國勢調査ニ際シ人口分布ノ常態ヲ激變スルガ如キ催ラ企ツルコトハ成ルベク之ヲ避クルノ要有之ト認メラレ候條此ノ点ニ付一層留意セラレ豫メ管内(御部内)ニ周知セシメ萬遺漏ナキ様今ヨリ御手配相成度

統計調査員異動

上は新任 括弧内は舊

昭和九年十二月三十日 北相馬郡小絹村 飯島 定 雄 (飯島俊雄)

昭和十年一月廿二日 東茨城郡吉田村 小室 祐之介 (大森源彌)

町村統計主任異動

上は新任 括弧内は舊

昭和九年十二月二十八日 多賀郡高岡村 豊田 武門 (佐川文雄)

昭和九年十二月三十一日 東茨城郡西郷村 大高 秀男 (大津芳四郎)

大衆的な 年産實に二百五十餘萬圓 年と共に益々殖えて行く

昭和九年の食用農産物

大豆、小豆、アワ、ヒエ、キビ、トウモロコシ、ソバ、サツマ(甘藷)、サツマイモ切干、ジャガイモ(馬鈴薯)の類を食用農産物と稱してゐるが昭和九年における本縣の作付段別は三萬八千六百三十九町歩で生産額は五百七十六萬四千七百三十圓に達し、これを前年に比べると作付反別において七百六十一町歩(零割二分)、價額において五十一萬九千四百九十四圓(零割九分九厘)を増してゐる、而してその中の王座を占むるものは何といつてもサツマイモで産額三千五百八十六萬五千六百九十貫、この價額二百五十一萬三千百十六圓、切干にしたサツマイモを加へると實に二百七十萬圓の巨額に達し如何にサツマイモが大衆的に捌かれてゐるか察せられる、これに次ぐのは

大豆	一、六四一、五二七圓	一二七、九七八石
ジャガイモ	四〇九、九七六圓	五、七五九、五七五貫
小豆	二七九、八九二圓	一八、九一石
アワ	二七九、七一圓	三一、九九九石
ソバ	二七九、三四六圓	三二、三八四石
サツマイモ切干	二二三、五九二圓	七一八、八五〇貫

の順序で、トウモロコシは十萬圓を超え、ヒエ、キビは孰れも一萬圓に達しない、しかも是等食用農産物は小豆、粟、トウモロコシ、ソバ等をのぞく外、何れも作付反別を増し、サツマイモの如きは八百五十一町余で二百四十萬貫餘の増加を示してゐる、各種類別に示せば次の通りである。

大 豆	作 付 反 別	收 穫 高 價 額	前年ニ比シ増減 (△印ハ減)	
			收 穫 高 價 額	額
豆	一五、六四五・八反	一二七、九七八・一、六四一、五二七	△ 一七六・八反	三三、一〇五石
小 豆	二、八五〇・三	一八、九一一	△ 七〇・七	二、一一三
ア	二、一九九・五	三一、九九九	△ 一六九・九	一、八三二
ヒ	六一・九	一、二〇四	△ 八・二	二一七
キ	三六・七	四五四	△ 八・六	九三
トウモロコシ	一、一六七・二	一九、四五〇	△ 一、三五六	△ 四、五二八
ソ	三、九八三・九	三二、三八四	△ 二七九、三四六	△ 一七、七二四
サツマイモ(甘藷)	一〇、九六〇・一	三五、八六五、六九〇	△ 二、五一三、一一六	△ 二、四〇四、二〇四
サツマイモ切干	—	七一八、八五〇	△ 八五一・二	△ 二、四〇四、二〇四
ジャガイモ(馬鈴薯)	一、七三三・六	五、七五九、五七五	△ 二二三、五九二	△ 二六六、九七八
計	三八、六三九・〇	—	七六一・〇	△ 二六、三七四

寄贈圖書

昭和九年 岐阜縣勢要覽	岐 阜 縣	昭和九年 佐賀縣統計速報	佐賀縣知事官房統計課
昭和九年 靜岡縣の財政	靜 岡 縣	第五卷第二號 資源	資 源 局
昭和八年度 通信統計要覽	遞 信 省	昭和九年版鳥取縣勢要覽	鳥 取 縣
昭和八年 兵庫縣工場一覽	兵 庫 縣	昭和九年 佐賀縣勢要覽	佐 賀 縣
第一一二號 貨物統計月報	內 務 省	第三十四回 兵庫縣勢要覽	兵 庫 縣
第十回 警察統計報告	警 察 廳	昭和九年 刊行 香川縣勢要覽	香 川 縣
昭和八年 關東廳第二八統計書	關 東 廳	昭和九年 刊行 宮城縣勢要覽	宮 城 縣
一月號 統計時報	奈 良 縣	第四卷第一號 工業現勢	東 京 工 業 大 學 工 業 調 査 部
第四號 統計時報	佐 賀 縣	昭和六年 第五回 海軍省年報	海 軍 大 臣 官 房
十二月 小賣物價月報	商 工 大 臣 官 房	昭和九年 兵庫縣の面積及人口	兵 庫 縣 總 務 部 統 計 課
		昭和九年 兵庫縣夏秋蠶統計	兵 庫 縣 總 務 部 統 計 課

統計に現はれた耕地の動き

開墾による千四百町の増加

昭和九年末現在に於ける本縣の耕地總面積は二十一萬八千三百五十六町八段歩にして之を田、畑別に分つと田九萬五千六百七十町九段歩(四割三分八厘)畑十二萬二千六百八十五町九段歩(五割六分二厘)となり前年に比し總數に於て八百八十九町六段歩(零割零分四厘)を、田に於て百四町九段歩(零割零分一厘)畑に於て七百七十五町七段歩(零割零分六厘)をそれぞれ増加した、しかし耕地面積の昭和九年中に於ける年内移動を觀るに増加面積千七百八十四町九段歩に及び内擴張千七百七十七町一段歩(九割六分二厘)實測の結果に依る増加六十七町八段歩(零割三分八厘)で減少面積は九百四町三段歩である、この内潰廢したるもの八百八十四町歩(九割七分八厘)實測の結果に依る減少二十町三段歩(零割二分二厘)となつて之を田、畑別にすると左の如くなる

増 加		減 少	
擴張	實測	潰廢	實測
田	三三三・九	六六・一	三三三・一
			九・六

畑一、三三三・二 一・七 五一〇・九 一〇・七
更に擴張、潰廢を種類別に觀れば

(擴張)		(潰廢)	
開 墾	一、四一七・〇	宅地並工場建物	九六・四
埋立及干拓	一三八・七	道路、鐵道、軌道	二八七・四
地 復 舊	二〇・〇	河川及水路敷地	一八・四
地 目 變 換	一四一・四	荒 地	—
		地類及地目變換	四八一・八

次に耕地面積を郡市別に觀ると稲敷郡の二萬二千七百四十四町七段歩(一割零分四厘)首位を占め新治郡の二萬一千四百四十四町二段歩(零割九分八厘)東茨城郡の二萬九百四十六町七段歩(零割九分六厘)之に亞ぎ其の他(水戸市を除き)は孰れも二萬町歩以下にして多賀郡の六千九百六十六町八段歩(零割三分二厘)を最少とする。之を郡市別に示せば次の如し。